

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		教育事務管理費 [東大和市の教育発行事業]									
予算科目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	事業番号	2
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	教育総務 課 庶務 係 課長名 斎藤 謙二郎										
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 1・2		
【施策名】 学校教育の充実・生涯学習の充実								総合計画書 (ページ)	31・35		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 教育関係者・行政機関・希望する市民					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 教育関係者・行政機関・希望する市民					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 学校教育行政及び生涯学習に関することなど、教育委員会の活動内容を振り返り、公表することで情報共有を図る。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 発行部数/教育関係者・行政機関・希望する市民					
	③ そのために何をしましたか。 年度ごとの教育行政(学校教育及び社会教育)に関する事業等を取りまとめる。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 内部でデータの取りまとめを行った。					
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標		
	対象指標	①の数値	人	300	100	0					
	成果指標	②の数値	人	不明	不明	不明					
	目標	②の目標値		目標値設定の考え方 学校教育行政及び生涯学習に関することなど、教育委員会の活動内容を振り返り、公表することで情報共有を図る。							
活動指標	③の数値	人	300	100	0						
3 経費	事業費(実績)		円	133,552	0	0		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	133,552	0	0					
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	824,400	838,000	825,000					
職員人件費(再任用)	円	0	0	0							
事業費+人件費		円	957,952	838,000	825,000						
4 環境変化等	(1) 開始年度	平成10年度									
	(2) 環境の変化	「東大和市の教育」の作成以前は、「学校教育要覧」を発行していた。この要覧には、社会教育部門の掲載がなく、教育関係の冊子として見直しがされた。 また、有料頒布の冊子であるが、市のホームページでの公表も実施した。 令和2年度の予算削減に伴い、令和3年度は事業を縮小する予定であった。 他の刊行物(行政報告書等)と重複する点が多いため、冊子の発行を実施しなかった。									

事業名称	教育事務管理費 [東大和市の教育発行事業]				
担当部署・課長名	教育総務	課	庶務	係	課長名 斎藤 謙二郎

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	特になし。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)				
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：			
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()			
7 課題	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
	特になし。				
	(1)令和3年度に課題とした内容(「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)引続き掲載内容等の検討をする。令和3年度から必要最低限の内容及び内部印刷のみとし、事業規模を縮小する。				
8 施策貢献状況	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。掲載内容等の検討の結果、他の刊行物と重複する点が多いため、内部印刷も行わなかった。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)引続き取りまとめ内容の検討をする。令和4年度も必要最低限の内容の取りまとめのみとし、内部印刷を行うかどうかについても検討する。				
	8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)				
9 今後の方向性	施策名： 学校教育の充実・生涯学習の充実				
	<input type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名(行政報告書作成事業)				
	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)				
9 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止				
	【取組内容】 引続き取りまとめ内容の検討をする。 令和4年度も必要最低限の内容の取りまとめのみとし、データ管理とする。				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 縮小した結果、影響がないかどうかを検討するため、数年は経過を観察する必要がある。				